

- ◆ 2017年12月の国連総会で採択・宣言
- ◆ 海洋科学の推進により、持続可能な開発目標(SDG14「海の豊かさを守ろう」等)を達成するため、2021-2030年の10年間に集中的に取り組みを実施

国連海洋科学の10年

取組期間
2021-2030

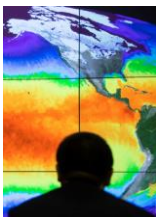
2030 持続可能な開発目標の達成

【目的】

- 海洋の持続的な開発に必要な科学的知識、基盤、パートナーシップを構築する。
- 海洋に関する科学的知見、データ・情報を海洋政策に反映し、全ての持続可能な開発目標達成に貢献する。

【「10年」で目指す社会的成果】

- きれいな海 - A Clean Ocean
- 健全で回復力のある海 - A Healthy and Resilient Ocean
- 予測できる海 - A Predicted Ocean
- 安全な海 - A Safe Ocean
- 持続的に収穫できる生産的な海 - A Sustainably Harvested and Productive Ocean
- 万人に開かれ誰もが平等に利用できる海 - A Transparent and Accessible Ocean



- 14.1 Prevent and Reduce marine pollution
- 14.2 Manage and Protect marine & coastal ecosystems
- 14.3 Minimize impacts of Ocean Acidification
- 14.4 Implement science-based management Plans
- 14.5 Conserve coastal and marine areas
- 14.6 Prohibit certain forms of fisheries subsidies
- 14.7 Increase socioeconomic benefit of SIDS

- 14.a Increase scientific knowledge ? Transfer of technology
- 14.b Provide access for artisanal fisheries to marine resources & markets
- 14.c Enhance conservation & sustainable use of oceans via international law

- ・海洋科学コミュニティ
- ・海洋政策・SDGs政策関係者
- ・ビジネス・産業界
- ・ドナー・財団
- ・市民社会 & NGOs

理想的な海の実現

Healthy and Safe Ocean

他のSDGsの達成にも貢献



ユネスコとの関係



- ◆ ユネスコIOCにおいて、「国連海洋科学の10年」に向けた取り組みを推進

「海洋科学の10年」の国連への提案主体

- ⇒ ユネスコIOCにおいて2年にわたり提案を審議。
- ⇒ ユネスコ総会を経て、2017年の国連総会で採択・宣言

「海洋科学の10年」の実施計画策定機関

- ⇒ 2021-2030年に実施すべき具体的な取り組みをとりまとめ中。計画案は今秋の国連総会へ提出予定。

ユネスコIOC: 政府間海洋学委員会

- 国際協力により地球規模での海洋学に関する知識、理解増進のための科学的調査の推進を図ることを目的に1960年に設立
- 海洋科学調査及び研究活動に係る唯一の国連機関

